

60th 塩化ビニル管・継手協会が 創立60周年

皆様に満足いただける
管材として

これからも成長

この度、塩化ビニル管・継手協会が創立六十周年を迎えましたことは、偏に関係省庁、各地方自治体、各団体、需要家、流通並びに原材料メーカー皆様の一方ならぬ温かいご支援の賜と厚く御礼申し上げます。

塩ビ管は、強度・耐食性・耐震性・耐久性・施工性に優れていることに加え、環境対策・経済性にも大いに有効であることから、上下水道用をはじめ、農業用水、建築設備、ケーブル保護の広汎な分野で使用され、この六十年間で重要な管工機材として成長、発展することが出来ました。

総合的に皆様方のニーズに貢献できる管材として、これからも成長してまいりたいと思っておりますので、より一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



塩化ビニル管・継手協会
会長 根岸 修 史

正会員
(50音順)

旭有機材工業株式会社/アロン化成株式会社/株式会社ヴァンテック/クボタシーアイ株式会社
信越ポリマー株式会社/積水化学工業株式会社/東栄管機株式会社/日本プラスチック工業株式会社
日本ロール製造株式会社/前澤化成工業株式会社

塩化ビニル管・継手協会

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル TEL.03-3470-2251 FAX.03-3470-4407

URL <http://www.ppfa.gr.jp>

編集後記

今年も4回目となるPVC Design Award 2014を開催しており、デザイン提案は7月末に締め切れ多くの応募を頂きました。現在、入賞作品の試作段階に入っています。製品応募の部も多くの応募をお待ちしています。

今号の、「シリーズインタビュー さきがけびとにきく」は、若くして国内外でプラスチック残材の取引商社GREEN PLUSを起業された西奈緒美さんに起業の苦労話や抱負を語っていただきました。バイタリティあふれる方でどんどん前に進んで行こうとする姿はとても輝いて見えます。リサイクルの現場からは、東大大学院に在籍中の磯辺孝行さんに東アジア、特に韓国の塩ビ建材のリサイクルシステムと状況について寄稿いただきました。「塩ビ最前線」からでは、塩ビ食品サンプルの製造を手がける榊森野さんの紹介です。芸術的な作品、奇抜な作品には目を見張るばかりで、外国人にも人気のようです。今後とも、ご愛読の程、よろしくお願い申し上げます。
(小坂田史雄)